

農業委員会の委員の推薦・応募状況

番号	推薦・応募の別	推薦を受ける者										推薦をする者						農地利用最適化推進委員推薦・応募の有無	
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	農業経営の状況				認定農業者等としての認定の有無	農業委員会委員に就任した場合の抱負等又は応募の理由	法人・団体の名称	代表者又は管理者の氏名	法人・団体の目的	構成員の資格、要件等	構成員の人数		推薦の理由
						職名・役職名等	耕作面積	従事日数(日/年)	従事年数(年)	主な作付作物									
1	推薦	たかはしみちやす 高橋 満康	67	男	農業	S53.3 国立東京教育大学付属坂戸高等学校卒業 S53.4～S63.3 日本国有鉄道に就職 主に乗務員として勤務 H1.4～H31.5 東海旅客鉄道株式会社に就職 主に事務職に従事 H28.12～現在 就農 R2.4～現在 大岡市民活動センター・地域活動推進員 R5.4～R8.4 大岡北部地区水利組合・組合長 R6.4～現在 東松山市農業委員 R8.4～現在 大岡北部地区水利組合・副組合長 R8.9～現在 東松山市農業振興対策協議会委員	12,892㎡ (田5,950㎡、畑6,942㎡)	90	12	水稻、野菜(キャベツ、とうもろこし)	無	私の住む大岡地区では、農業従事者の死去や高齢化と担い手不足による耕作放棄地の拡大が迫ってきております。私自身も耕作不能となった田畑を請け負って耕作をしております。 地域活動等の経験を活かし、農地等の利用の最適化の推進に関する事項、その他の農業委員会の所掌に属する事項に関し、常に公平な立場をもって従事、貢献していきたいと考えます。	東松山市自治会連合会 大岡支部	宮田 雅也	市政への協力と民意の反映につとめ、市民の福祉増進と市政の発展に寄与する。	大岡地内各地区区長	14	自身も水稻や野菜の作付を行い、農業に関する技術や知識が豊富である。また、大岡北部地区水利組合の副組合長に就任し、地域の農業者からの人望も厚く、農業事情にも精通しているため。	推薦していない
2	推薦	ふじの 藤野 かおり 香織	47	女	農業	H13.3 国際医療福祉大学医療福祉学部医療経営管理学科卒業 H15.4～H18.3 雪印種苗株式会社千葉研究農場の研修生として勤務 H19.10～ 実家の藤野牧場にて就農 R3.4～現在 東松山市農業委員	100,000㎡ (畑100,000㎡)	365	19	生乳生産(約250t)、牧草、WCS	有 準ずる者	今までの経験を生かし、地域の農業者と農地をうまくマッチングできるよう、お手伝いさせていただきます。東松山市の農業振興の問題点である担い手の高齢化、耕作放棄地の増加、これらをどのように解決するかを、農業委員の立場として考えていきたいと思っています。	東松山市自治会連合会 大岡支部	宮田 雅也	市政への協力と民意の反映につとめ、市民の福祉増進と市政の発展に寄与する。	大岡地内各地区区長	14	藤野さんは畜産業を中心に水稻などの農業に従事しており、また令和3年より東松山農業者会NEXTからの推薦で2期務め、知識や経験は豊富である。そして何よりも東松山市の農業について、農業者の高齢化・耕作放棄地の増加等を大変危惧しており、その解消に向けて取り組みたいといった意欲を持っている方です。	推薦していない
3	応募	しまだ 島田 やすぞう 安三	73	男	専門サービス業(経営コンサルタント)	S52.3 明治大学政経学部経済学科卒業 S52.4 商工組合中央金庫入庫 H20.6 商工組合中央金庫退職 H20.7 八重洲商工株式会社入社 H25.6 八重洲商工株式会社退職 H25.9 埼玉県農業大学校農業実践コース入校H25.9 東松山市国民健康保険運営協議会委員(～現在会長) H25.12 埼玉県農業大学校農業実践コース修了 H26.2 島田社会保険労務士事務所(現島田経営労務管理事務所)開業 H26.3 埼玉県農業大学校外部講師 H28.12 東松山市創業支援センター相談員(～現在) H29.3 武蔵野大学大学院人間学研究科人間学専攻修士課程修了 H30.4～現在 東松山市農業委員	—	—	—	—	無	農業従事者の減少、高齢化を受けて耕作放棄地等を含む遊休地は増加の一途をたどっており、農地バンク等により解消を図っているが、必ずしも順調とはいえない。そのため、平成28年4月の農業委員会法改正を受け、「農地等の利用の最適化(担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進)の推進」が農業委員会の必須業務となった。この業務を行うためには、農業に対する知見が必要であり、農業者以外の者で、中立的な立場で公正な判断をすることができる人材が求められる。私は農業者ではないが、以下の通り、農業に対する知見を持った人材として、農業委員として適していると自己推薦するものである。 現在、埼玉県農業大学校講師として、農業経営・農業労務等を教え、埼玉県の農業経営・就農支援センターの経営支援専門家として県内各地の農家支援を行っている。	—	—	—	—	—	—	応募していない

4	推薦	すながのりあき 須長 則明	69	男	農業	S50.3 埼玉県立川越農業高等学校卒業 S50.4～H27.3 東松山市農業協同組合(H8.4合併により埼玉中央農業協同組合となる) H28.4～H30.3 三友不動産 H31.8～R4.10 公益財団法人東松山市農業公社 R2.6～現在 埼玉中央農業協同組合理事 R6.4～現在 東松山市農業委員	2,133㎡ (畑2,133㎡)	150	46	じゃがいも さつまいも	無	これまでの農業委員としての経験を踏まえ、申請地の隣地等に問題が生じないよう、農地の適正な利用に努めてまいります。 また、東松山市の農業発展に向けて、農業の担い手の発掘にも努めてまいりたいと考えております。	埼玉中央農業協同組合	大澤利宏	相互扶助の精神に基づき、信用・共済・経済事業を3本柱として事業を展開し、組合員の営農と暮らしを支えとともに、「食」と「農」と「環境」を守り、地域の発展に貢献することを目的とする。	正組合員：10a以上の土地を耕作し、年間60日以上農業に従事する者で、住所が地区内にある、またはその従事する農業に関する土地若しくは施設が地区内にある者 准組合員：組合の事業を利用することが適当であると認められる者	正組合員：13,688 准組合員：15,403 合計：29,091人	須長氏は、長年にわたり当組合に勤務し、退職後は農業に従事するとともに、農業公社での勤務、当組合理事、農業委員を務めるなど、農業・農地制度に関する豊富な知識と経験を有しております。また、温厚な性格と強い責任感を持ち、地域の中心的な存在として活躍しております。 これまでの農業委員としての経験を生かし、今後も農地の適正利用や農業の担い手確保・育成に積極的に取り組む意欲を持っていることから、次期農業委員として強く推薦します。	推薦していない
5	応募	うつぎしょういち 宇津木 昭一	75	男	農業	S44.3 埼玉県立川越工業高等学校 電気科卒業 S46.3 日本電子工学院(現日本工学院専門学校)電子工学科卒業 S46.4～H21.3 東光㈱(現 埼玉村田製作所)に入社(退職時役職：本社商品設計部部长で海外/香港駐在経験あり) H3.6～現在 就農(35年前、父親の他界に伴い兼業農家として就農) R1.11～R6.11 東松山都市計画事業高坂駅東口第一土地区画整理審議会委員 R2.6～R5.6 埼玉中央農業協同組合 理事(営農経済委員兼務) R3.4～R6.3 東松山市農業委員 R5.4～R7.3 高坂第一自治会会長(区長) R5.4～現在 埼玉中央農業協同組合 総代(高一地区選出)	1,030㎡ (畑1,030㎡)	30	35	現在は、自家消費用野菜のみ作付(夏冬野菜等12種類程度)(白菜、大根、ジャガイモ、ネギ、玉ねぎ、ナス、きゅうり等)	無	私自身の農業への関わりは、35年前に父親に代わり保有する農地を維持すべく就業(会社員)と就農の兼業農家が原点です。 尚、十歳代の頃より繁忙期における農作業の手伝い経験はありましたが、本格的に就農したのは、35年前からです。 しかしながら、33年前に都幾川リバーサイド事業による田んぼの収用に伴い稲作が無くなり、以降は畑作のみとなりました。 昨今の農業従事者の減少、とりわけ高齢化による離農に伴う遊休荒廃農地の増加、農産物価格の低迷等地域農業の抱える問題が山積みしている今日、国の礎である農業の維持は勿論活性化に向けて農地法の枠組みの中で法令を遵守した最善の方法を過去の事例やしがらみにとらわれる事なく農地の所有者(利用就農者)と利用者、新規就農者を鑑みた農地の有効活用に向けて微力ながら取り組んで参りたいと存じます。	—	—	—	—	—	応募していない	
6	応募	かとう みきお 加藤 幹雄	77	男	農業	S42.3 秋田県立金足農業高等学校卒業(農業科) S42.4～現在 就農 S48.10～S50.8 秋田県雄和町事務吏員任用 農業委員会出向(主事補) H12.4～H16.12 雄和町農業委員会出向(課長補佐) H11.4～H19.3 秋田県秋田市雄和県営圃場整備事業に係る転作組合(会計) H27.10～H28.3 秋田市河辺土地改良区臨時職員(施設管理者) H28.4～H29.3 秋田県農村水産部農林政策課特別職非常勤職員任用(国有農地管理担当) R1.8～R2.3 秋田県警察特別職非常勤職員任用 生活安全部少年女性安全課(チャイルドセーフティ・センター) R2.8～R8.7 東松山市都市計画審議会委員(第4号)	21,370㎡ (田21,370㎡)	50	59	飼料用稲	無	主な地域活動として、秋田県県営圃場整備事業の一環として秋田市雄和種沢地区の圃場整備事業(1ヘクタール規模の大区画化)の実施に伴い対象農家が取り組む、転作箇所の調整を図るため設立された「秋田市雄和種沢地区転作組合」の会計として、平成11年4月から平成19年3月までの8年間携わりました。 秋田県雄和町農業委員会での職務経験や秋田県農林水産部農林政策課並びに秋田市河辺土地改良区での勤務経験を活かし、東松山市の農業発展のために貢献したいと考え、応募しました。 また、農地利用最適化推進委員として次の項目に取り組みたいと考えます。 ①幅広い年代に農業に目を向けてもらうためのPR強化 ②各種就農支援を継続して推進し、担い手確保につなげる。 ③優良農地の保全と有効活用(上記取り組み項目は、令和8年3月策定の第二次東松山市農業振興基本計画より引用)	—	—	—	—	—	応募している	

7	推薦	のむら 野村 孝行	77	男	農業	S43.3 埼玉県立川越工業高等学校卒業 S43.4建設会社入社 S53.4東松山消防団入団 S49.4～S61.3 自営業(建設業) H1.4～現在 就農 H24.4～H27.3 農業委員会委員 H30.4～R6.3 農業委員会委員	380,000㎡ (田 380,000㎡)	300	20	稲作	有	農業委員の活動に真剣に取り組めます。	野本区長会	上野本大区 長 岸澤 輝	この会は、地区内各自治会相互の連絡協議を図り、東松山市自治会連合会野本支部として、東松山市自治会連合会その他関係諸団体との連携と協働により市政に積極的に協力し、快適で活力ある野本づくりを推進するとともに、交通後援会、消防後援会として交通安全協会野本支部及び東松山消防団第六分団の活動を支援していくことを目的とする。	地域住民	356人	・地域を代表する大規模水田経営を展開し、地域の農地について精通している。 ・農業委員を3度務め、経験豊かでその責務を熟知しており野村氏が最も適しているとして推薦します。	推薦していない
8	推薦	すぎうらつとむ 杉浦 勉	71	男	農業	S48.3 埼玉県立川越農業高等学校卒業 S48.4～H27.3 東松山地区消防組合に入署。消防、救急業務に従事 H25.4 ～R3.3 土地改良区監事(矢来用水) H30.4～現在 東松山市農業委員	213,000㎡ (田 210,000㎡、畑 3,000㎡)	300	12	水稻	有	地域住民の代表として、中立の立場で公正な職務を実施したい。	野本区長会 中部地区	加藤明義	この会は、地区内各自治会相互の連絡協議を図り、東松山市自治会連合会野本支部として、東松山市自治会連合会その他関係諸団体との連携と協働により市政に積極的に協力し、快適で活力ある野本づくりを推進するとともに、交通後援会、消防後援会として交通安全協会野本支部及び東松山消防団第六分団の活動を支援していくことを目的とする。	地域住民	1199	農業委員を平成30年4月から現在まで努め、経験も豊富であり、その責務を熟知しており、農業の経験も豊かで最も適していると考え推薦します。	推薦していない
9	応募	ひさもとみさお 久本 三朝男	75	男	学校勤務	S58.3 亜細亜大学大学院経営学研究科博士課程単位修得退学 S59.4 東京成徳大学附属高等学校 専任講師として勤務(～S61.3) S61.4 青森大学経営学部経営学科 専任講師として勤務(～H8助教授で退職) H8.4 福山大学経済学部国際経済学科教授として勤務(～H13.8退職) H13.9 (NPO法人)国際比較文化研究所 研究員として勤務(～H14.3退職) H14.4 昭和第一高等学校 常任講師として勤務(～H28.3教諭で退職) H16.4 明治大学経営学部経営学科 兼任講師として勤務(～H17.3退職) H28.4 昭和第一高等学校 入試広報室室長代理として勤務(～現在に至る)	特になし	特になし	—	特になし	無	まず私の農業に対する基本的な考え方は、人間が生活するうえで、最も重要な「食」の生産に関する第一次産業については、ヨーロッパの先進諸国と同様に、しっかりと保護政策を行うべきであると考えている。ただ、2024年の「食料・農業・農村基本法」の改正により、従来の有事の対策だけでなく、平時の経済的・社会的な対応策も考慮されている。 しかし、近年のコメ問題としていわゆる「令和のコメ騒動」(2024年～2025年)が惹起し、社会・経済的問題となった。概して、日本の食糧安全保障は、不安定であり、色々な問題である。食糧自給率も低く、先進国では最下位の38%(カロリーベース)である。 特に、ロシアのウクライナへの攻撃(2022年2月)開始などの世界情勢の不安定により、食料はより重要性が増してきたと言えよう。周知のように、ウクライナは穀物の宝庫であり、世界の穀倉地帯の1つで、当然世界の食糧事情にも大きな影響を与えている。 翻って、日本ではまず食糧自給能力を高め、記述した食糧自給率を少しでも伸ばす必要がある。例えば、1960年代初頭の時点では、日本とドイツは、60%～70%の自給率でほぼ同じであったが、現在ではドイツは、工業国でありながら、農業生産力を維持し、自給率もほぼ100%である。いわんやフランスでは、農業大国で、小麦の輸出を行っている。 日本においても、コメについては、ドイツのようにその可能性は有る。日本の米穀の自給率は、98%であり、輸出できる可能性があり得ると考える。そのためには、まず国内の安定化を図り、二度と「コメ騒動」など起きないようにしなければなりません。 そのためには、関係の産農取引所(正式名:株式会社産農取引所「ODEX」)の活用にも与える。農業委員として試みたいのは、農産物のマーケティング活動に力を入れて、流通と販売の拡大に尽力したいと考えている。生産と共に流通・販売にも力をいれ、農業全体を多角化する。具体的には、JAの活発な市場活動化、販売のネット戦略、アンテナショップなどの展開(駅の道タイブなど)、各種小売店との取引拡大(専門店、量販店など)、各種飲食店との取引展開などが考えられる。したがって、私は農業をマーケティング活動の面・ソフト面から底上げ展開したいと考えております。意欲をもって、応募いたします。	—	—	—	—	応募していない		

10	推薦	くぼた せつこ 久保田 節子	71	女	農業	S49.3 埼玉県立川越女子高等学校卒業 S49.4～H12.9 富士写真フィルム株式会社 朝霞研究所に就職主に特許、市場調査、品質保証、製造管理業務に従事 H12.9～現在 就農 H14.12～H30.3 坂戸市の秋元登記測量事務所にパートとして勤務 H27.4～現在 東松山市農業委員 H29.6～現在 多面的機能支払交付金(越辺水土里会)事務局(書記) R2.4～R4.3 比企地域女性農業委員・農地利用最適化推進委員連絡会会長 R6.4～現在 東松山市農業委員会会長 R8.6～現在 埼玉県農林公社評価委員	12,500㎡ (田:11,000㎡、畑:1,500㎡)	100	26	水稻、野菜	無	1. 高坂地区の農地の集積・集約化を推進し中間管理事業に結び付けた経験を活かし、市内他地区と情報を共有し、東松山市の農業の最適化を図りたい。 2. 土地改良区や多面的機能支払交付金活動組織(越辺水土里会)との連携を図り、農地維持活動に協力したい。 3. 比企地域女性農業委員・農地利用最適化推進委員連絡会の一員として、他町村の女性委員との交流を密にし、女性目線での地域農業の振興発展を図りたい。	比企地域女性農業委員・農地利用最適化推進委員連絡会	会長 山田 富子	農業委員・農地利用最適化推進委員の活動を通して、地域農業の振興発展を図ることを目的とする。	比企地域9市町村の農業委員会に所属する女性農業委員・農地利用最適化推進委員	19	比企地域女性農業委員・農地利用最適化推進委員連絡会は平成16年4月発足以来、22年を迎え8市町19名の会員が各農業委員会で精力的に活躍中です。 今年3月には令和7年度農山漁村女性活躍表彰に於いて、女性活用・組織参画部門で「農林水産大臣賞」を受賞致しました。この受賞は、22年の間に在籍した農業委員・推進委員の努力の賜物であると感謝しております。 現在、全国では多くの女性委員が活躍しております。女性ならではの感性と視点を生かした活動展開により、農業委員会活動の幅が広がるだけではなく地域の農業者の良き相談相手としても厚い信頼を受けるなど、活動の活性化に繋がり、女性が多岐委員に登用されることが求められているところです。 比企地域女性委員連絡会の活動の趣旨は、研修会等の参加及び会員相互の情報交換と連絡会独自の研修による資質の向上を目的としています。 4期目の久保田節子さんの、農地中間管理事業取り組みの実践は、多くの農業委員・農地利用最適化推進委員に多大な影響力を与えました。そして、その存在は私達農業委員・農地利用最適化推進委員の目撃であり、今後の活動と会員の資質向上に繋がる学びの機会を与えてくれるものと思います。 以上の理由から比企地域女性農業委員・農地利用最適化推進委員連絡会は久保田節子さんを農業委員に推薦いたします。	推薦していない
11	応募	ひだか けんぞう 日高 憲三	63	男	農業兼大学講師	H8.3 名古屋大学大学院 修了 H1.7～H4.8 JICA青年海外協力隊としてパラグアイ国農牧省農牧普及局に派遣され、野菜栽培の普及・指導活動を行った H8.10～現在 東京農業大学、東京農工大学、名古屋大学など複数の大学、そして現在は大東文化大学、法政大学で非常勤講師として教育活動に従事 H28.2～現在 日本キヌア協会事務局長として雑穀キヌアの栽培や料理講習会等を企画、運営 R2.10～現在 長野県で農業に従事、2026年2月に東松山市に移住、新規作物としてアマランサスやキヌアなどの試験栽培を実施	500㎡(畑500㎡)	80	6	アマランサス、キヌアなどの雑穀類	無	私は高坂にある大東文化大学で10年間(2016年～現在まで)、教育活動に携わり、2026年2月に東松山市へ移住しました。市内でアマランサスやキヌアなどの雑穀を栽培し、栄養価の高いスーパーフードとしての食用利用に加えて景観作物としての活用にも取り組んでいます。これまでの農業や人との関係づくり、教育の経験を生かし、地域の農業者や土地所有者の声に耳を傾け、関係者と協力しながら、農地の有効利用と遊休農地の発生防止・解消、新規就農者の支援、東松山市の農業振興に貢献したいと考え、応募いたしました。	—	—	—	—	—	応募している	
12	推薦	はせべ たかじ 長谷部 高治	66	男	パート社員	S54.3 筑波大学付属坂戸高等学校卒業 S54.4 トッパディディスプレイ(株)入社 S63.3 ビーアンドプラス(株)入社 R4.6 ビーアンドプラス(株)定年退職 R6.1 株式会社ヤオコー入社(東松山デリカセンター) R5. 4～ R7.3 東松山市葛袋地区自治会長 R6.4～現在 東松山市農地利用最適化推進委員	1,350㎡ (田1,350㎡)	150	6	米	無	私は現在、唐子地区南部土地改良区内で、約50aの米作りを行っています。自然に恵まれた地域で、今後も米作りが、永続的にできるように微力ながらお力になれるように頑張ってます。以下の点にポイント置き、取り組みたいと思います。 1)新規参入へのアプローチ 2)圃場の確保(見える化) 3)水源、水路の充実	唐子地区区長会	会長 大野 喜裕	唐子地区正副区長相互の連絡調整を図り、地区の発展、区民の福祉増進に努め、併せて市政の発展に寄与するため	唐子地区正副区長	33	長谷部 高治氏は、これまでに自治会長を務められ地域住民からの信頼も厚く、また現在も営農者であるとともに農地利用最適化推進委員を務めており、その職務において優れた見識と豊富な実務経験を有しています。農地等の利用の最適化の推進に関する事項、その他の農業委員会の所掌に属する事項に関し、その職務を適切に行うことができる人材であるため、推薦いたします。	推薦していない

13	推薦	なかざわひより 中澤 日和	50	女	農業	H5.3 本庄第一高等学校卒業 H7.3 深谷看護婦学校卒業 H10.10 ㈱福祉の街入社 H20.5 ㈱ダスキンくりはら入社 R2.4～現在 就農 R7. 4～現在 唐子南部土地改良区理事	280,000㎡ (田 280,000 ㎡)	250	6	水稻	有 準 ず る 者	就農年数はまだ少ないですが、地域の農業者として自覚を持ち信頼に応えられるよう努めます。 遊休農地の発生防止と解消に努めます。また、担い手が少なくなってきていますが、新規就農者が1人でも増えていくよう、地域農業の発展に貢献したいと考えています。 農業委員の職務については、これから学ばせていただきたいと考えています。	唐子地区区 長会	会 長 大野 喜裕	唐子地区正副区長相互の連絡調整を図り、地区の発展、区民の福祉増進に努め、併せて市政の発展に寄与するため	唐子地区正副区長	33	中澤 日和氏は、就農歴こそ浅いものの、情熱を持って農業経営に取り組み、地域の営農者の担い手として周囲から期待を集めています。また、現在は唐子南部土地改良区の理事という要職を務めており、農地の維持管理や地域の水利調整において優れた実務能力とリーダーシップを発揮しており、農地等の利用の最適化の推進に関する事項、その他の農業委員会の所掌に属する事項に関し、その職務を適切に行うことができる人材であるため、推薦いたします。	推薦して いない
14	推薦	やましたまさゆき 山下 正行	71	男	無職	S50.3 国土建設学院測量学部卒(測量・土木工学専攻) S50.4～H30.6 東日本総合計画(東日本航空→旧東武計画)入社 航空写真測量、都市計画、街づくり計画を担当 H24.6 技術統括本部長を経て取締役就任 H30任期満了にて退職 R3.4～ 正代自治会区長2年、高坂地区区長会役員 R3.4～現在 国交省都幾川遊水地正代早俣合同対策協議会代表 R6.4～現在 東松山市農業委員、主に中間管理事業に携わり正代・早俣推進協議会代表、宮鼻推進協議会事務局長として現在に至る。	330㎡(畑 330㎡)	150	19	野菜(トマト、きゅうり、ナス、かぼちゃ、にんにく他)	無	○農業の課題 1、持続可能性 2、技術革新 3、食品の安全性と品質 4、農業者の支援 5、食料の安全保障 6、耕作放棄地・遊休農地の解消 ○農業委員会の課題と対策 1、地域住民の農業に対する理解をいかに得ることができるか。地域とのコミュニケーションである。オープンで透明な対話を促進する場を創りたい。 2、騒音や臭気が問題でありその対策は重要だが、子供の農業体験等自治会との連携により今以上の理解を得られる方策を提案したい。 3、無秩序な農地転用も住民と耕作者の溝を深くする要因。法は変えられないが詳細な「農用地マスタープラン」を作成し、転用許可の条件に追記する等考えたい。	正代水土里 会	理事長 高橋仟治	農地及び水路等保全管理	正代に在住し、農村環境に理解を示す者	43	【農業土木に精通し、農業の未来とそあるべき姿を考えている人物】数年前は区長として地域をまとめると共に農地管理とその保全について、しっかりした考えを持ち行動している。また、国交省都幾川遊水地計画では、農業土木の知識と経験を活かし「遊水地計画(正代早俣)合同対策協議会」の代表として国交省並び東松山市担当部局との調整を現在も行っている。また、農業委員として中間管理事業に精通し、地域の遊休農地解消のため、経験を活かした地元勉強会や地域説明会を積極的に実施し、中間管理事業の促進に努めている。	推薦して いない